

もくじ

- ・ けんじゃ おく もの
賢者の贈り物

けんじゃ おく もの 賢者の贈り物

げんさく
原作： オー・ヘンリー

イラスト： kotokoto

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

3

『デラ』のポケットの中^{なか}には、たった1ドル
16セントしかありませんでした。明日^{あした}はもう
クリスマスだというのに、夫^{おと}の『ジム』に
プレゼントを買^かってあげ^かねるお金^{かね}が、これだけしか
ないのです。

いら^らないものを売^うってお金^{かね}に換^かえようとしても、
まず^{まず}貧^{わか}しくて若^{ふたり}い二人^{いえ}の家^くには、暮^{ひつよう}らしに必要^{ひつよう}なもの
以外^{いがい}はなにもありませんでした。



5

「ジムにどんなプレゼントを贈^{おく}ったら、喜^{よろこ}んで
もらえるかしら。高価^{こうか}で、めずらしいものがないん
だけど・・・このお金^{かね}じゃとても無理^{むり}よね」

ふとデラの目^めに、壁^{かべ}に掛^かけられた小^{ちい}さな鏡^{かがみ}が映^{うつ}
りました。

鏡^{かがみ}に映^{うつ}る自^じ分^{ぶん}をじつと見^みつめていたデラ^{かお}の顔^{かお}が、
パツとかがやきました。

「そうだ、これよ！私^{わたし}にはまだ、これがあつた
わ！」

デラは結^{むす}ばれていた髪^{かみ}の毛^けをほどき、ブラウンの
長^{なが}い髪^{かみ}を、くしでていねいに伸^のばしました。

